

## とんでもない連中

JJ1SXA/池

第79代首相・細川護熙(1938年生まれ)、第81代首相・村山富市(1924年年生まれ)、第89代首相・小泉純一郎(1942年生まれ)、第93代首相・鳩山由紀夫(1947年生まれ)、第94代首相・菅直人(1948年生まれ) の面々、首相経験者としてあまりにも軽率である、自らの言動が国際的にどのような影響を与えるのかを真剣に考えるべきだ。

欧州連合(EU)欧州委員会に宛てた脱原発を求めた書簡で、東京電力福島第1原発事故の影響について、「多くの子供たちが甲状腺がんに苦しんでいる」と誤った記述をしていた。

専門家による国連委員会などの報告では、そうした影響は確認されていない、山口壮環境相が「いわれの無い差別や偏見を助長することが懸念される」と5人に抗議文書を出したのは当然だ。

脱原発という自らの政治的な主張を訴えるため、事実に基づかない、福島県の風評被害を広げるような誤った情報を発信した責任は重大だ、速やかな撤回・謝罪が必要だ。

問題の書簡で元首相たちは「この過ちを繰り返してほしくない」と脱原発を訴えた、だが、繰り返してはならないのは、誤解を招く自らの情報発信である。

老害という言葉だけでは済まない、こんな人達に日本の舵取りを任せていたことに大ショックだ、過去の肩書を振り回すのは止めてもらいたい。

いい加減完全引退をしろと言いたい、ボケ老人の戯言を垂れ流すより、大人しく引っ込んでいの方が可愛げがある、既に、晩節を汚していると言えるが、大人しくしていればこれからでもいくらかは取り返しが付く。

(2021年12月記)